

平成30年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	南信州民俗芸能継承推進事業
事業主体 (連絡先)	南信州民俗芸能継承推進協議会
事業区分	(3)教育、文化の振興に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,999,039 円

事業内容

1 伊那民俗学研集会の開催

関係機関との連携による講座研究会を実施した

開催日 平成30年10月27日(土)・28日(日)

場 所 飯田市美術博物館 大ホール

内 容 コト八日行事と神送り

受講者 50名(延べ人数)

2 國學院大学における民俗芸能体感講習会の開催

首都圏在住の南信州出身者や学生・研究者を対象として、遠山霜月祭(和田)の体感・講習会の実施。

開催日 平成30年11月10日(土)

会 場 國學院大学 常磐松ホール

参加者 160名

(1) 遠山霜月祭について小川教授及び櫻井学芸係長から講演。

講演題目

「日本の神楽と遠山霜月祭」(13:15~13:55)小川直之教授

「遠山霜月祭和田の特質」(15:20~16:00)櫻井弘人学芸係長

(2) 実演「遠山霜月祭和田」(14:00~15:10)遠山霜月祭保存会

踏みならしの舞、祝儀の舞、湯立て、面、かす舞、金剣の舞

3 民俗芸能フォーラムの開催

地域住民を対象とした民俗芸能発表や継承活動事例の発表を実施

開催日 平成31年2月24日(日)

会 場 飯田市竜丘公民館 ホール

参加者 150名

(1) ロゴマーク表彰式 吉沢正昭様(松川町)

(2) 「民俗芸能を受け継ぐこと~その意義と地域社会~」小川直之教授

(3) 「扇の舞、剣の舞」飯田市立和田小学校

(4) 「傾城阿波の鳴門巡礼歌の段」飯田女子高等学校

(5) 意見発表「若き継承者の思い」佐々木大地様

4 子ども体験会の開催

地元の子どもの中心として民俗芸能のワークショップを開催

開催日 平成31年3月3日(日)

会 場 大島山公会堂

参加者 16名

講 師 大島山獅子舞保存会 獅子舞の由来、舞の練習

(獅子舞・宇天皇)、着付け

5 ロゴマークの募集

募集期間 平成30年12月3日(月)から平成31年1月25日(金)

6 ウェブサイト及びパンフレットの内容更新・充実

民俗芸能ナビを更新し民俗芸能の動画情報を配信した

南信州の民俗芸能紹介パンフレットを増刷しフォーラム等で活用した



【民俗継承フォーラムにおいて上演する和

【目標・ねらい】

民俗芸能を古くからの地域コミュニティの形成の役割と新たな地域振興に活用することで、将来への継承に繋げ、「醍醐味(真の価値)の普及と共感(響感)の輪の拡大」を推進する。

※自己評価【B】

【理由】

民俗芸能を見つめ直す機会を創出し、地域住民の民俗芸能に係る意識の醸成を図ったため。

事業効果

県内外において民俗芸能をテーマとした研修会を実施。民俗芸能の継承活動を通じて民俗芸能を見つめ直す機会とし、改めて地域全体で民俗芸能継承の意義を共有した。

(参加者・受講者)

コト八日行事と神送り 受講者50名(延べ人数)

國學院大學 遠山霜月祭(和田) 参加者160名

民俗芸能フォーラム 参加者150名

子ども体験会の開催 参加者16名

今後の取り組み

地域住民が地域の貴重な財産である民俗芸能を将来にわたり継承するため、引き続き民俗芸能を見つめ直す学習会等を創出する。

また、若者の発表の場を創出することで若者の意欲を向上させ、保存会及び民俗芸能の継承に繋げていく。

小学校や中学校の授業で児童生徒が民俗芸能や祭りの歴史や意味を学ぶことができるよう、教育委員会などの関係機関と検討会を行う。

保存会の課題解決を地域全体で解決するため、パートナー企業と連携し様々な支援を実践していく。